第88号
令和3年12月
発行

ボランティア・協働情報紙　～まなびとボランティアをサポートする～

まなぼら

Contents

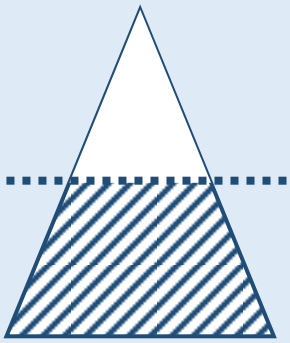
特集
　多様性（ダイバーシティ）について考えてみませんか
元気人
　松崎小学校わくわく教室　渡邉 哲郎 さん
防府市生涯学習課のイチオシ
　●**『放課後子ども教室』の活動を紹介します！**
　●**報告♪ほうふ幸せます人材バンク**
防府市社会福祉協議会のイチオシ
　●**手話のキホンが学べる！市民手話講習会**
　●**出張！ボランティアコーナー～野島の「短期講座」に行ってきました♪～**
防府市市民活動支援センターのイチオシ
　●**『防府コミュニティフリッジ』フードプレゼンター募集**
　●**『チャレンジやまぐち！地域貢献賞』受賞**

多様性（ダイバーシティ）について考えてみませんか

みなさんは、”多様性（ダイバーシティ）“という言葉に対し、どのようなイメージをおもちでしょうか。関心をもち何かしらの行動を起こしている人もいれば、早急に取組まなければならない課題だと捉えている人もいるでしょう。また、聞いたことはあるけれど深く考える機会がなかったという人も多いのではないでしょうか。

今号では、ダイバーシティを推進するための活動や取組をご紹介します。

多様性とは、集団においてさまざまな属性の人が集まった状態のことです。女性活躍やLGBTQ、障がい者など社会的マイノリティへの理解といったテーマで語られることが多くなりましたが、多様性には、目に見える特性だけでなく、価値観や経験などの目に見えない特性も含まれ、その種類は多岐に渡ります。



表層的ダイバーシティ

性別、国籍、人種、民族、年齢、障がいの有無、SOGI（性的指向・性自認）

深層的ダイバーシティ

価値観、宗教、経験、趣味、能力、受けてきた教育、コミュニケーションの取り方

知る　正しい知識と相手を思う想像力を身に着けよう

12 月４日～10 日は、『人権週間』です。人権は、一人ひとりの「違いを認め合う心」で守られます。生活の中のさまざまな思い込み・先入観・偏見・固定観念・排除や差別の意識、これらを解決し、違いを認め合える多様性のある社会の実現のためには、まずは、正しい知識をもつことが大切です。

人権学習室では、公民館や福祉センターの講座、小学校の就学期子育て学習会、職場の研修会など市内のさまざまな人権に関する学習会へ講師（人権学習指導員）を派遣し、みなさんと一緒に「人権」について考えています。

今年度も多くの学習会が開催されており、依頼先の希望に沿って、さまざまなテーマでお話をしています。小野公民館の高齢者教室では、「子ども叱るな来た道じゃ　年寄り笑うな行く道じゃ」という演題で、認知症を主とした高齢者の人権について話をしました。一方的な講座にならないように、DVD の視聴やグループでの話し合いをしてもらい、参加者からは、「身につまされた。相手の立場に立ち、その状況を想像する力が必要だと思った」などの感想がありました。

この講師派遣の制度を活用し、人権や多様性について考えるきっかけにしていただければと思います。（内容は下記を参考にしてください）

講師料は無料で、土日夜間の学習会でもお伺いいたします。また、短時間、少人数の学習会でも大丈夫ですのでお気軽にご相談ください。人権課題を扱った DVD や図書の貸出もしています。

◆こんなことが学べます◆

・LGBTQ の問題　・ジェンダー意識　・ハラスメント問題　・環境問題　・障がい者問題
・同和問題　・子どもの問題（貧困・いじめ・虐待）　・高齢者問題　・外国人の問題
・男女共同参画社会　・インターネットにおける問題　・感染症の問題　など人権全般

【問合せ】防府市教育委員会教育部生涯学習課　人権学習室　TEL（0835）23-3016

体験する

福祉を通して多様性に触れてみよう

市社会福祉協議会は、小学生を対象に、福祉体験学習（福祉教育）を実施しています。福祉教育は、車いす体験やアイマスク体験などの疑似体験を通じて、地域に暮らす高齢者や障がいのある方の生活の様子や関わり方について考え、今後の自分たちの行動につなげることを目的としています。

児童には、地域にはいろいろな人がいることに気付くこと、車いすを利用する方や目の見えづらい方の気持ちを想像すること、困っている方への思いやりや助け合いの気持ちをもつことを期待しています。

体験した児童からは、「目の見えない方の暮らしがわかりました」「みんなが声をかけてくれたので安心しました」「困っている人を見かけたら、声をかけようと思います」などの感想がありました。

このような福祉に触れる体験を通して、自分にできることを考え、日々の生活の中で行動に移してもらいたいと思っています。

行動する

誰一人取り残さない社会の実現を目指そう

『認定特定非営利活動法人やまぐち発達臨床支援センター』は、年齢や障がいの程度に関わらず、学習に困っている子どもたちが通っている施設です。センターでは、一人ひとりの特性に応じたプログラムを設定した学習指導を大切にしています。既成のプリントに頼るのではなく、一人ひとりの特性や発達段階に応じ、拡大したり、切ったり貼ったり、作り直したりしながら、指導教材の準備には時間をかけ、短期間で結果が出るように学習指導を行っています。

『ほうふグローバルネット』では、在住外国人との交流、国際理解イベントの開催、地域の課題把握などの活動を行っています。防府市には、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシアなどの国の人たちが約 1,300 人（令和 2 年現在）住んでいます。さまざまな文化や言語、宗教などを理解しながら在住外国人と共生できる地域を目指しています。

『ゲートウェイやまぐち』は、ブラインドサッカー(※)を通じて、人々が多様性を認め合い、笑顔でつながる社会の実現を目指し、「障がい者と健常者をつなぐ架け橋になりたい」との想いで、山口県初となるブラインドサッカーチームを立ち上げました。大会へ向けた練習だけでなく、体験会の開催やイベント出展による普及活動、情報発信も行っています。

※ブラインドサッカーは、アイマスクを着用した４人のフィールドプレーヤーと、晴眼者もしくは弱視者が務めるゴールキーパーがピッチ内に立ちます。視覚障がい者と晴眼者が力を合わせてプレーするため、ブラサカでは「音」と「声」によるコミュニケーションが重要です。

★表紙の写真はゲートウェイやまぐちの練習の様子です。

元気人

渡邉 哲郎さん

Tetsuro Watanabe

『松崎小学校わくわく教室』

渡邉さんは、松崎地区出身の 70 歳。公立小学校長を退任後、『十種ヶ峰青少年自然の家』の所長を務めながら放課後の学習支援を行う『松崎小学校わくわく教室』を始めたのを皮切りに、見守り活動や花壇の水やりボランティアなどの学校支援ボランティアの活動を続けられています。現在は、大学の非常勤講師や山口県ボーイスカウト連盟の委員を務められるなど、幅広く活動しておられ、今年の『春の叙勲』では、教育功労として『瑞宝双光章』を受章されています。

Q 活動を始められたきっかけは？

8 年前、読み聞かせなどの学校支援ボランティアの活動が広がり始めていた頃、小学校教員の経験を活かしたいという想いから、松崎地区在住の退職されている校長先生に声をかけ、松崎小学校の 2 年生から 6 年生を対象とした放課後の学習支援を始めることにしました。支援の内容は、国語や算数などの補充学習で、主に宿題の指導をしています。

当初は、平日、毎日開催していましたが、現在は、週 3 回（月・水・金）の開催で、毎回、約 50 名の子どもたちが参加しています。

Q 子どもたちの反応は？

活動を始めてからの 8 年間で大変なこともありましたが、学習後の子どもたちの充実した表情を見たり、「わからないところがよくわかるようになった」という感想を聞いたりするとやりがいを感じます。

年度末には、子どもたちからお礼の手紙や寄せ書きをもらうことがあり、とても励みになっています。

また、朝の見守り活動の時に顔なじみの子どもたちが元気よく挨拶をしてくれると嬉しく思います。

Q 活動において大切にしていることは？

子どもたち全員の顔と名前を覚えている自信はありませんが、それでも、毎回、子どもたち一人ひとりに声をかけ、励ますことを心掛けています。

また、指導者間で指導方針が異なることもありますが、その場合は、それぞれの個性を活かし、長所を発揮してもらうことを大切にしています。ちなみに、私は指導者の中ではまだまだ若手です。

Q 元気の秘訣は？

1 つ目は、散歩をすることです。2 年前に愛犬の金太郎を迎えたことをきっかけに始め、現在は、毎日、朝と夕方に金太郎と一緒に散歩をしています。途中で会う方との挨拶や会話で、散歩をきっかけに地域の方とのつながりが広がりました。

2 つ目は、すべての物事を前向きに捉えることです。昔から人と友達になることが得意で、お願いされたことは前向きに何でも引き受けてきました。

これからも、さまざまな活動を通じて、生涯、学び続けるとともに、学ぶ喜びを感じながら、人生 100 年時代を大いに楽しみたいと思います。

防府市生涯学習課

『放課後子ども教室』の活動を紹介します！

『放課後子ども教室』とは？

防府市生涯学習課では、子どもたちがふるさとへの誇りや愛着を深め、地域社会の中で心豊かで健やかに成長できる環境づくりを図るため、市内の約 15 地区で『放課後子ども教室』を開催しています。対象は小学生で、地域と学校が連携・協働して学習や体験・交流活動を行っています。

どのような活動をしているの？

小学校や公民館で、宿題などの学習活動や生け花などの文化芸術活動、恵方巻き作りなどの料理、ペタンクなどのスポーツ、芋掘り体験などの校外活動をしています。開催にあたっては、主に地域の方が中心となり活動内容の企画や当日の運営をされています。

今年度の活動は？

2 学期に開催した牟礼放課後子ども教室の活動を紹介します。10 月に行われた『春日鬼太鼓を習おう』という企画では、春日鬼太鼓隊員の方のご協力のもと、目の前で演奏を聴いたり、指導のもとでさまざまな種類の太鼓をみんなで叩いてみたりしました。太鼓の音色や叩いた時の感触など、夢中になって楽しんでいました。

報告♪　ほうふ幸せます人材バンク

華浦小学校校内クラブ活動

▲パステルアート

▲茶道

▲バルーンアート

▲絵手紙

▲ネイチャーゲーム

▲南京玉すだれ

華浦小学校の校内クラブ活動で、『指導者バンク』に登録されているボランティアの講師 5 人と 1 団体のみなさんが、子どもたちに指導をされました。今年度は、5 回連続での活動でした。講師のみなさんは、以下の方々です。

- 秋川　訓子さん（パステルアート）
- 小川　博敏さん（バルーンアート）
- 小川　浩三さん（ネイチャーゲーム）
- 細田　恵子さん（茶道）
- 吉田　悦子さん（絵手紙）
- 古典芸能南京玉すだれ山口保存会（南京玉すだれ）

講師の方のお話では、「連続で教えられるので、子どもたちの成長を見ることができてうれしいです」とのことです。小学校の先生は、「専門的な技術をおもちの方に、熱心に教えていただきとてもありがたいです」と、言われていました。

防府市社会福祉協議会

「だれもがワンボラ運動」
つぼみちゃん

手話のキホンが学べる！

市民手話講習会

手話は、聴覚に障がいのある方の重要なコミュニケーションツールの１つです。あいさつや簡単な手話を学んで、聴覚に障がいのある方とコミュニケーションをとってみませんか？

昼の部と夜の部がありますので、参加しやすい時間帯にぜひご参加ください。

日　　時　令和４年２月２日（水）～3 月 16 日（水）
毎週水曜日 全６回※祝日は除く
【昼の部】10：00～11：30　【夜の部】19：00～20：30

会　　場　市文化福祉会館３階９号

対　　象　手話に関心がある方や基本を学びたい方（高校生以上）

定　　員　10 名程度（先着順）

参 加 費　無料

申込期日　令和４年１月 26 日（水）

問 合 せ　市社会福祉協議会（7P 参照）

出張！ボランティアコーナー

～野島の「短期講座」に行ってきました♪～

10 月 20 日（水）、ボランティアアドバイザーが講師依頼を受け、野島漁村センター主催の短期講座に行ってきました。

これまで野島地区は、学校の文化祭に地域の方々をお呼びして毎年文化祭を行っており、そこで展示するものを作るため、小物づくり教室を開催してきました。しかし、今年度は、コロナ禍のため小・中学生のみで文化祭を実施することとなったことから、参加者は持ち帰りやすいマスクチェーンとマスク入れをつくることにしました。参加された４名の方々は、小物を制作しながら、和気あいあいとした時間を過ごされました。

参加者からは、「かわいい小物を自分で作れて嬉しい」「孫にプレゼントしよう」といった感想があり、笑顔が見られました。

『ボランティアコーナー』では、ボランティアアドバイザーによるボランティアに関する相談や、小物づくり体験を行っています。来られる際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をください。

ボランティアコーナー　毎週月・金曜日 13：00～16：00
場所：市文化福祉会館２階 16 号　問合せ：市社会福祉協議会（7P 参照）

防府市市民活動支援センター

イチオシ

『防府コミュニティフリッジ』フードプレゼンター募集

特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと

11 月 2 日（火）、『特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと』が、ルルサス防府 1 階に『防府コミュニティフリッジ』を開設しました。コミュニティフリッジとは、食料品などの支援を必要とされている方が、自分の都合のいい時に取りに行ける仕組です。

コミュニティフリッジには、冷蔵庫・冷凍庫が設置されており、生鮮食品も受け取ることができます。利用は事前登録制で、防府市内のひとり親家庭などで、NPO や児童委員などのサポートを受けている家庭が対象です。出入り口は、登録者がスマートフォンで開錠できる電子ロックを採用し、8：00～21：30 の間であれば、人目を気にすることなくいつでも自由に物資を受け取ることができます。県内での開設は初めてで、全国では 3 ヶ所目です。

フードプレゼンター（提供者）募集中！

個人、グループ、企業などでご登録いただけます。ご提供いただける食料品は、未開封で消費期限内のものに限り、日用品は、未開封、使用期限内のものに限ります。ご提供いただける場合は、事前にお電話にてお知らせをお願いします。詳しくは HP（右の QR コード）をご覧ください。

【問合せ】特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと
TEL（0835）24-7744　　受付時間 10：00～17：00　※火曜、年末年始を除く

『チャレンジやまぐち！地域貢献賞』受賞

認定特定非営利活動法人みらいプラネット

『認定特定非営利活動法人みらいプラネット』が、『チャレンジやまぐち！地域貢献賞』(※)を受賞しました。『認定特定非営利活動法人みらいプラネット』は、難治性血管奇形の啓発、差別の撤廃と偏見の排除を目的に活動しています。 難治性血管奇形は、完治させることが難しく、生涯にわたる疾患 治療･管理が必要な病気です。まだまだ一般的には知られておらず、そのため自分の病気が何か分からないために苦しんでいる患者さんがいます。その救済のため病気の啓発に取組むとともに、患者さんへの偏見や差別の撤廃に向けた活動を行っています。

受賞及び団体設立 10 周年を記念し、『笑顔で未来へ繋ぐ人権フェスタ』が開催されます。

笑顔で未来へ繋ぐ人権フェスタ

日　時：12 月 26 日（日）13：00～16：30
場　所：防府市公会堂　　入場料：無料
内　容：記念セレモニー／人権特別講演＆ミニライブ「今を生きる」歌手 LINO ／人権学習啓発教材上映／書道パフォーマンス／市内小中学校吹奏楽部による演奏／市内高等学校美術部による作品展示／防府商工高校による「幸せます弁当」及びグッズ販売・ものづくり体験／血管年齢測定

（※）チャレンジやまぐち！地域貢献賞…「活力みなぎる山口県」の実現に向け、地域づくりの推進力となる県民活動を促進するため、県民活動団体や社会貢献活動を行う事業者等の特に優れた取組の表彰です。

information

時 時　間　場 場　所　内 内　容　対 対　象　人 定　員　¥ 参加費　持 持参物　申 申込み　問 問合せ

12/9（木） 令和3年度 防府市障害者福祉啓発セミナー

手話通訳・要約筆記あり

時 14：00～16：00
場 市地域協働支援センター多目的ホール
内 「不登校・ひきこもりを理解する！
～地域でどう向き合うか～」
対 どなたでも
人 会場参加 40 名　WEB 参加 40 名
¥ 無料
申 12 月 3 日（金）まで
問 市社会福祉協議会

12/25（土） 【竹林ボランティア防府】ミニ門松を作ってみませんか

時 ①9：30～10：30　②11：00～12：00
場 市地域協働支援センター研修室 2
内 ミニ門松（直径 20 ㎝×高さ 60 ㎝）の制作
人 各 15 名（先着順）
¥ 800 円（材料代）
持 花バサミ、完成品を持ち帰る袋
申 12 月 6 日（月）～18 日（土）
問 市市民活動支援センター

12/26（日） 【ちーずぷりん】お正月飾りを作りましょう

時 ①10：00～11：30　②13：30～15：00
場 市市民活動支援センター会議室
内 クラフトバンドを使ってお正月飾り作り
（置いても掛けても OK）
人 各 10 名
¥ 2,000 円（材料代）
持 ハサミ
申 12 月 19 日（日）まで
問 市市民活動支援センター

R4 1/24（月） 令和3年度 防府市地域福祉推進セミナー

手話通訳・要約筆記あり

時 13：30～14：40
場 市文化福祉会館 大会議室(3 階 4 号)
内 「消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)について」
「防府市消費者被害防止ネットワークについて」
対 地域福祉に関心のある方
人 会場参加 40 名　WEB 参加 40 名
¥ 無料
申 令和 4 年 1 月 14 日（金）まで
問 市社会福祉協議会

R4 募集締切 1/31（月） 【公益社団法人マツダ財団】 2022年度助成

支援期間 令和4年4月1日から1年間

青少年を育む市民活動

青少年健全育成のための民間の非営利活動（ボランティア育成、科学体験・ものづくり、若者の居場所づくり、地域連帯、コミュニティづくり、自然とのふれあい、国際交流・協力）を支援します。

★総額 800 万円（1 件 10～50 万円、約 30 団体）

若者×ツナグバ

地域社会のために活動する非営利の若者グループを支援します。満 15 歳以上 30 歳未満で、5 人以上の団体。過去に取組実績がなくても、1 年限りの活動でも応募可能です。

★総額 150 万円（1 件 30 万円、5 団体）

申 HP（右記 QR コード）から申請書をダウンロードし、必要事項を入力して電子メールで申請
E-mail　mzaidan.sj@mazda.co.jp

編集後記

『まなぼら』は、３機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は６月・９月・１２月・３月です。

今年の目標は、沢山の本を読むことでしたが、思うようにできませんでした。ひとまず戦略的撤退とし、年末は、美味しいお酒でも飲んで、来年に向けて英気を養おうと思います。（T）

先日、牟礼小学校で行われた福祉教育（アイマスク・車椅子体験）に行ってきました。子どもたちや地域の方々に負けじと？ランニングタイツに体操着ではりきって参加しました。（K）

今年もあと１ヶ月というところで、１年が猛スピードで過ぎていったなと感じています。何もできないままだったので、来年こそは何か新しいことにチャレンジしたいと思っています。（N）

防府市教育委員会教育部生涯学習課
生涯学習相談コーナー
〒747-0026
防府市緑町 1 丁目 9-2
防府市文化福祉会館内 1 階 10 号
(0835)23-3015
(0835)38-8131
shougai@city.hofu.yamaguchi.jp

防府市社会福祉協議会
（ボランティアセンター）
〒747-0026
防府市緑町 1 丁目 9-2
防府市文化福祉会館内 1 階 14 号
(0835)22-3907
(0835)25-1388
fureai-net@hofushishakyo.jp

防府市市民活動支援センター
〒747-0035
防府市栄町 1 丁目 5-1
ルルサス防府 2 階
(0835)38-4422
(0835)24-7733
ehofu@trust.ocn.ne.jp